

新郡市医師会長の紹介

十勝医師会

会長 おおば 大庭 しげり 滋理 先生



令和4年6月、十勝医師会会長に就任された大庭滋理先生を紹介します。

昭和31年、大樹町出身。小学2年生の時に父様が副院長を務めていらした大樹町立国民健康保険病院から独立、大庭医院を開設されました。中学時代から札幌に転居、札幌南高等学校を卒業され札幌医科大学へ進学、昭和60年卒業と同時に同第一外科に入局されました。以後、大樹町立国民健康保険病院を含む道内各地で外科医として地域医療に貢献され、平成13年お父様と一緒に大庭医院で勤務を始められました。

長年十勝医師会理事として十勝全体の地域医療にも貢献され今年医師会長に就任されました。(趣味)

クラシック鑑賞がご趣味で札幌交響楽団の定期演奏会の会員を50年継続されています。大樹町芸術鑑

賞協会の会長もされており演奏会の企画にも携わっていらっしゃいます。

中学生時代から続けておられるバレーボールは高校時代インターハイで決勝トーナメントまで進んだことのあるほどの腕前。大樹町バレーボール協会の会長もされ、ママさんバレーの練習相手もされているとのこと。

大樹町と言えばロケット、インターステラテクノロジー(株)が有名ですが、設立時から後援会の会長、そして産業医としても運営に協力されています。「ロケットの打ち上げは2023年には一般の皆様にも公開で開催される可能性が高いです。出店もでて楽しみながら打ち上げを待つことができます」とのこと。

「酪農、漁業中心の町ですがこのように活気があり、人口も増加に転ずる気配を感じています。その姿をもう少し見ていたいですね」

同じ南十勝で勤務するものとして長年ご指導いただいています。地元の大樹町を心の底から愛し、医療人としてだけでなく一町民として貢献されている大庭先生。

十勝の医療をさらに発展させてくださることと信じています。

北海道医報通信員

十勝医師会副会長 山田 康介

新型コロナウイルス感染症関連情報

新型コロナウイルス感染症に関する日本医師会からの通知等は、北海道医師会ホームページ「医師の皆様へー感染症情報」に掲載しています。

URL : <http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/infection.html>